

べいにちかん かくせんそう そ し  
米日韓の核戦争阻止を

こくてつしゅうかい せいこう  
2・14 国鉄 集会の成功かちとろう

めいかい こ てつかいとうそうつらぬ ろうどうほうせいだいかいあく こうげきふんさい  
1047 名解雇撤回闘争 貫 き 労働法制大改悪の攻撃粉碎へ

ねんぼうとう い だい しょう り じつげん かんこく 民しゅろうそう りん じ こつ  
2016 年冒頭から偉大な 勝利が実現されている。韓国・民主労総は臨時国  
かいさいしゅう び ろうどうかいあく きょうこう そ し い いんちょう そうじょう  
会最終 日まで労働改悪の 強 行を阻止し、ハンサングン委員長 への騒 擾（そ  
うじょう）罪適用も粉碎した。民主労総はパククネと与党セヌリ党による再度の  
ざいてきょう ふんさい 民しゅろうそう よ とう とう さい ど  
臨時国会 招 集 に対しても、1 月ゼネストを構えている。これと連帯し、日本で  
りん じ こつかいしょうしゅう たい がつ かま れんたい に ほん  
は動労水戸がライフサイクル粉碎の 1・4 ストライキを打ち抜いた。民主労総の  
どうろう み と ふんさい う ぬ 民しゅろうそう  
闘 いは、パククネ政権打倒、朝 鮮侵 略 戦争阻止、労働者権 力 樹立へ、世界革命  
たたか せいけん だ とう ちょうせんしんりやくせんそう そ し ろうどうしゃけんりよくじゅりつ せ かいかくめい  
の最先端を切り開く決起だ。この民主労総と連帯し、2・14 国鉄 集会の成功と  
さいせんたん き ひら けっ き 民しゅろうそう れんたい こくてつしゅうかい せいこう  
動労総連合建設をかちとり、日本でもゼネストへ進もう。

ばくげき き しゅつどう  
B 52 爆撃機が 出 動

かんこく かいきゅうとうそう 民しゅろうそう にぎ かくめい げんじつせい  
韓国では階 級 闘争のヘゲモニーを民主労総が握り、プロレタリア革命の現実性  
き ひら なか べいにちかん ぐん じ たいせい ちょうせんしんりやくせんそう  
を切り開いている。このただ中で米日韓とその軍事体制による 朝 鮮侵 略 戦争＝  
かくせんそう きゅうはく  
核戦争が 急 迫している。

きたちょうせん きむじょうん ざんそん しゅ ぎ たいせい てんぷく  
これは北 朝 鮮・金 正 恩（キムジョンウン）の残存スターリン主義体制の転覆  
ねら しんりやくせんそう どう じ 民しゅろうそう せんとう かんこくろうどうしゃかいきゅう かく  
を狙った侵 略 戦争であると同時に、民主労総を先頭とした韓国労働者階 級 の革  
めいてき けっ き あつさつ はんかくめいてき しんりやくせんそう せん  
命的なゼネスト決起を圧殺する反革命的な侵 略 戦争だ。しかもそれは B 52 戦  
りやくばくげき き かくくう ぼ かくせんそう べいてい きたちょうせん ぐん じ  
略 爆撃機や核空母によるすさまじい核戦争である。米帝による北 朝 鮮への軍事  
じゅうあつ きたちょうせん はんじんみんてき ぜつぼうてき かくじつげん お こ ぜつこう  
重 圧は、北 朝 鮮を反人民的で絶望的な核実験へと追い込み、またそれを絶好の

こうじつ ちょうせんしんりやくせんそう き き いま いっしょくそくはつ じょうたい  
口実にした 朝鮮侵略戦争の危機は、今や一触即発の状態にある。

べいてい がつ とお か かくへい き どうさい ちょうせんはんとうじょうくう ひ こう かくくう ぼ  
米帝は 1 月 10 日、核兵器を搭載した B 52 を 朝鮮半島上空で飛行させ、核空母  
ロナルド・レーガンを 朝鮮半島近海に展開することも計画している。北 朝鮮ス  
ターリン主義の反人民的行動をとらせ「作戦計画 5 0 1 5」を発動する機会をう  
かがっている。またこれに対応して日帝・安倍も、朝鮮侵略戦争参戦策動と同時  
に 中国スターリン主義に対する軍事行動をエスカレートさせている。

なか あ べ がつさんいんせん せん さいだいそうてん かいけん う だ こく  
この中で安倍は、7 月参院選（ダブル選）の最大争点に改憲を打ち出した。国  
際連帯と階級的労働運動で 朝鮮侵略戦争切迫と対決し、世界戦争参戦と改憲  
を狙う安倍を、国鉄決戦と 7 月選挙決戦で絶対に打倒しよう。そこへの当面する  
最大の課題として、2・14 国鉄集会への総決起を訴える。

## J R の安全大崩壊

だいいち いくてつしゅうかい こくてつ めいかい こ てつかいとうそう あら はってん  
第一に、2・14 国鉄集会は国鉄 1 0 4 7 名解雇撤回闘争の新たな発展を勝ち  
とる 集会だ。

めいかい こ てつかい もと どうろう ち ば さいばん さいこうさい さくねん けってい  
1 0 4 7 名解雇撤回を求める動労千葉の裁判で、最高裁は今年の 6・30 決定を  
もって、東京高裁が認定した「J R 採用差別は不当労働行為」という判決を確定  
させた。

とうきょうこうさいばんけつ ぶんかつ みるえい か はんたい ろうどうくみあい しょぞく もの さ べつ  
東京高裁判決は、「分割・民営化に反対する労働組合に所属する者を差別し  
て不利益に扱う目的、動機（不当労働行為意思）に基づいて J R 不採用基準が  
つくられた」「（J R に）採用されていた可能性は相当程度にあった」と明確に認定  
した。しかも J R 不採用基準は、当時の国鉄幹部・葛西敬之（現 J R 東海名誉  
会長）や井手正敬（元 J R 西日本会長）と J R 設立委員会委員長・斎藤英四郎

が共謀して作成したことも明らかになっている。

国鉄改革法 23 条 5 項は J R 設立委員会が行った行為は J R が行った行為とするとしている。つまり斎藤英四郎らが行った J R 不採用基準の作成という不当労働行為は、J R 各社が行った行為だということだ。J R 東日本こそ不当労働行為を行った当事者である。しかもその不当労働行為が確定したのだから、解雇撤回、現職復帰は当然だ。

2・14 国鉄集会を出発点に、J R に対して直接、1047 名を直ちに J R に復帰・採用せよと求める大運動をつくりだそう。

第二に、2・14 国鉄集会は第 2 の分割・民営化攻撃と真っ向から対決し、外注化阻止・非正規職撤廃・被曝労働拒否の闘いを貫き、さらに全産別に拡大・発展させる集会だ。

国鉄分割・民営化と J R 外注化は鉄道事故を続発させ、今や安全が総崩壊している。ブルジョア情報誌『選択』の 2016 年 1 月号は、「経営陣の『人命軽視路線』は続く」「J R 東日本『技術劣化』の惨憺（さんたん）」というタイトルで、「経営陣に染みついた安全軽視思想はもはや致命的」などと、J R 東日本の安全崩壊の深刻さを嘆いている。

ところが J R 東日本は、「選択と集中」なる地方の切り捨て、ターミナル駅の大型開発、第 2 の分割・民営化としての鉄道業務の全面外注化・総非正規職化に突き進む一方で、安倍と一体で原発や武器、鉄道（新幹線）の輸出にのみり込んでいるのだ。

動労千葉は「闘いなくして安全なし」を掲げて反合理化・運転保安闘争を闘ってきた。まさに労働者の闘いによってしか鉄道の安全は守れないのだ。外注化・総非正規職化と闘う労働運動を全産別につくりだそう。

せんそう かいけん たたか  
戦争・改憲と闘う

だいさん  
第三に、2・14 国鉄集会は安倍の戦争・改憲と労働法制大改悪・労組破壊の  
こうげき たいけつ ふんさい しゅうかい  
攻撃と対決し、それを粉碎する集会だ。

べいにちかん ちょうせんしんりやくせんそう たいけつ あべ かいけんこうげき う やぶ さいしん ちから  
米日韓の朝鮮侵略戦争と対決し、安倍の改憲攻撃を打ち破る最深の力は、  
こくてつとうそう もとしゅしょう なかそ ね やすひろ こくてつぶんかつ みんえい か こくろう そうひょう しゃ  
国鉄闘争にある。元首相の中曽根康弘は「国鉄分割・民営化で国労と総評、社  
かいとう りっば けんぽう とこ ま あんち こうげん こくてつとうそう かいたい  
会党をつぶし、立派な憲法を床の間に安置する」と公言した。国鉄闘争を解体せ  
せんそう かいけんこうげき かんてつ ねんかん こくてつとうそう れんごう かんせい はば せんそう  
ずに戦争・改憲攻撃は貫徹できない。30 年間の国鉄闘争が連合の完成を阻み、戦争  
かいけん はば うえ いま あべ せんそう かいけんこうげき ほんかく か せん ごろうどう  
・改憲を阻んできた。その上で今、安倍の戦争・改憲攻撃が本格化し、戦後労働  
ほうせい ぜんめんかいたい こうげき はじ  
法制の全面解体の攻撃が始まった。

さくねん あんぼ せんそうほう せいていきょうこう どうじ ろうどうしゃ はけんほう かいあく きょうこう  
昨年、安保・戦争法の制定強行と同時に労働者派遣法の改悪が強行された。  
こんつうじょうこっかい ざんぎょうだい かいこ きんせんかいけつ ほうせい か ねら  
今通常国会では「残業代ゼロ」や解雇の金銭解決の法制化が狙われている。こ  
かいきゅうてきろうどううんどう ろうどうそうぎ あっさつ ろうどうしゃ せんそう  
れは階級的労働運動をつぶし、あらゆる労働争議を圧殺して、労働者を戦争に  
どういん こうげき  
動員していく攻撃だ。

しほん ろうどうしゃ ていちんぎん かこく ろうどう きょうせい ろうどうしゃ ほこ うば  
資本は、労働者に低賃金で過酷な労働を強制することで労働者の誇りを奪い、  
ろうどうしゃ だんけつ きょうどうせい はかい しほん たい ていこうりよく てつていき う くだ  
労働者の団結と共同性を破壊し、資本に対する抵抗力を徹底的に打ち砕こうと  
しよくば しほん いか こえ あ たたか とき  
している。職場で資本に怒りの声を上げることや闘うことができなくなった時  
ろうどうしゃ せんそうどういん げんじつ あべ おこな せんそう かいけんこうげき がいちゅう か そう  
に、労働者の戦争動員は現実となる。安倍の行う戦争・改憲攻撃と外注化・総  
ひせい きしよく か いったい  
非正規職化は一体である。

かんこく みんしゅろうそう ろうどうかいあく そし べいにちかん ちょうせん  
韓国・民主労総は、ゼネストでパククネの労働改悪を阻止し、米日韓の朝鮮  
しんりやくせんそう たいけつ ろうどうくみあい ろうどうしゃこくさいれんたい ちょうせんしん  
侵略戦争と対決している。労働組合のストライキと労働者国際連帯が朝鮮侵  
りやくせんそう ろうどうほうせいかいあく そし ちから みんしゅろうそう だんけつ こくさいれんたいしゅうかい  
略戦争と労働法制改悪を阻止する力だ。民主労総と団結する国際連帯集会と

して 2・14 集会を闘いとうろう。

第四に、2・14 国鉄 集会は新自由主義攻撃としての「非正規化と貧困」の大攻撃に真っ向から対決する、16 年 春 闘決起 集会だ。1 月 4 日の連合の新年交歓会に日銀総裁・黒田東彦が参加し、「賃上げ」を要請するあいさつを行った。「アベノミクス」と「異次元緩和」の大破産、日帝経済・財政の破滅にあえぐ安倍と黒田は、連合を抱き込み、「官製 春 闘」をまたも演出しようとしている。こんな反労働者的策動など断固粉碎して 闘おう。賃上げは労働者が団結し、闘い抜いて勝ち取るものだ。ストライキで 16 春 闘を 闘おう。

全国に動労総連合

第五に、2・14 国鉄 集会は動労総連合を東京をはじめ全国に建設し、労働組合の闘う拠点を全産別につくりだしていく 集会だ。

動労千葉の田中康宏委員長は 1 月 9 日の動労千葉旗開きで、「2016 年は組織拡大の一点にかけて 闘いぬこう」と訴えた。動労総連合を先頭にして労働組合の拠点を全国に無数に建設することが、戦争・改憲と労働法制改悪を阻止する最大の力である。組織拡大こそ、資本に対して最も打撃を与える 闘いだ。

2・14 国鉄 集会を新たな突破口に、東京をはじめ全国でさらに動労総連合建設を推し進めよう。それが日本労働運動を変える。

年初来の全世界的な株価暴落や底なしの原油下落が示すように、世界大恐慌が本格的全面的に激化している。それが第 3 次世界大戦と核戦争の導火線に火がつく大激動の時代への突入を生み出している。反帝国主義・反スターリン主義の旗のもと、労働者国際連帯を打ち固め、資本主義・帝国主義を打倒して、労働者

<sup>しゅじんこう</sup>が主人公の<sup>あた</sup>新<sup>しゃかい</sup>しい社会をつくろう。

2・14 <sup>こくてつしゅうかい</sup>国鉄集会と1～3月<sup>がつかくてつ</sup>国鉄・春<sup>しゅんとうけっせん</sup>闘<sup>たたか</sup>決戦を闘い、3・11 <sup>はんげんぱつふくしまこうどう</sup>反原発福島行動  
<sup>けっ き</sup>に決起しよう。5月<sup>がとおきなわとうそう</sup>沖縄闘争と伊勢志摩<sup>い せ し ま</sup>サミット<sup>ふんさいとうそう</sup>粉碎闘争、7月<sup>がっせんきょけっせん</sup>選挙決戦の<sup>しょう り</sup>勝利  
<sup>たたか</sup>へ闘おう。<sup>ぜんこく</sup>全国で<sup>どうろうそうれんごう</sup>動労総連合と<sup>がくせい じ ち かい</sup>学生自治会<sup>けんせつ</sup>を建設しよう。